



←めいほうかんホームページ <http://www.at-mhk.jp>

←日々の様子をぜひご覧ください→

本校 Facebook →



明蓬館高校は2009年4月、閉校となった旧安宅小学校を活用して開校した広域通信制高校です。毎日通えるスクールコースもあります。インターネットをフルに活用し、成果物やテストで学習を評価、年4日間福岡安宅（あたか）の本校にてスクーリング（面接授業）を受ける学習システムです。

幸せをつかむために避けられないこと

校長 日野 公三

明蓬館高等学校は、生徒とご家族の教育ニーズに加えて、福祉ニーズに応えようと努めてきました。福祉とは、広義では個人が幸せになれるようアプローチすることです。そのためのアプローチには2種類あります。幸せをつかむアップサイドと幸せをそこなうダウンサイドです。

十代の生徒たちに最初に向き合うのは、ダウンサイドです。

下記の事柄があります。

■威圧による委縮、緊張、慢性的なストレス ■過度な依存 ■嫌な勉強 ■自分への過度な期待、過信 ■孤独 ■ネガティブな人たちとのつきあい ■他人と比較されること ■被害者意識、被害妄想、自己憎悪 ■慢性的な睡眠不足 ■嫉妬や怒り それらを一つひとつたな卸しし、軽減し、心や体を開放していくことからスタートしなければなりません。

第3回 文化祭特集



安宅行政区長宗近様よりご祝辞、櫻井議長からはご祝辞と弾き語りを頂きました。

本校所属生徒 内訳 (12/1 付)		
本校生徒	サポート校	合計
81名	18名	99名

明蓬館全校
438名



地元の寺田議員によるくす玉割りにて盛大な拍手の中開会。箸ピー大会は皆真剣そのもの。食事バザーでは、ぜんざい、おはぎ、豚汁、ホワイトカレーが完売でした。



校章のコンセプト

「@」をモチーフに図案化。そこから伸びゆく新芽と中心に配した笑顔は、卒業する頃には自分の立ち位置を見つけ強く明るい人間になってほしいという学校の願いを表現しています。

令和最後の月

11月はまさに文化の秋、芸術の秋を生徒達は満喫しました。川崎町社会福祉協議会主催の「ふくしまつり」ではステージ部門にてバンド演奏を5曲（アンコール+1曲）させていただきました。川崎町文化連盟主催の「町民文化祭」には美術部の出番も作っていただき、生徒達の活躍の場をいただきまして真にありがとうございました。

そして一週間後に開催されました「めいほうかん文化祭」では開会行事、箸ピー大会、バンド演奏、テレビゲーム大会、男女逆転ファッションショーと最後まで盛り上がりしました。食事部門では地元の方々より安宅産の小豆を使ったぜんざいとおはぎを作っていただき、生徒達は安宅野菜と天日干し新米を使って、豚汁、ホワイトカレーサフランライスを販売したところ完売いたしました。安宅行政区の皆様におかれましては、お忙しい中にもかかわらず、多数お越しいただきましてこの場をお借りしましてお礼申し上げます。

さて、令和元年も最後の月となりました。今年は昨年西日本豪雨に続いて日本全国自然災害で心を痛めましたが、少しずつ復興の兆しもみえています。今年も生徒共々本当に世話になりました。どうぞ良いお年をお迎えください。

副校長 小賀 友子

祭りかわさき特集



①タッチ②安宅の風吹くめいほうかん③365 日の紙飛行機④フレンズ⑤千本桜⑥ルーージュの伝言を披露しました。

鷹峰中美術部の作品の前で、元美術部が撮影。インスタ映え！



文化連盟主催の展示コーナーでは美術部が、イラストやデッサンを出品しました。



12月1日(日) DE・愛 大感謝祭
11:30-12:00 めいほうかんバンド出演

新入・転入は
0947(49)5111
直通(小賀)へ